

わたしたちの生活と森林	()組	氏
	()番	名

ゆうこさんたちのクラスでは、日本の森林とわたしたちの生活とのかかわりについて学習した後、宮崎県の森林について調べ「森林新聞」としてまとめることになりました。

【資料1 ゆうこさんたちのまとめた「森林新聞」の一部（前半）】

森林新聞 — 宮崎の森林とわたしたちの生活

私たちのくらしに欠かせない森林 — おもな森林のはたらき

4年生の「宮崎県」の学習で学んだことを思い出しましょう。

宮崎県 次の3つの県木があります。

- **フェニクス** 病害虫に強く、寿命の長い木です。
- **ヤマザクラ** 山地に自生する野生のサクラです。
- (⑤) 日南の飫肥地方で江戸時代から植えられてきました。

①～④の絵や写真をよく見て、下のア～エのどれに当てはまるかを考えましょう。

A

B

記号	森林の種類	特ちょう
A	(a) 林	(A)
B	(b) 林	(B)

AとBのどちらの方が、人の手が入っているかを考えましょう。

全国 67%

宮崎 76%

全国 41%

宮崎 59%

(林野庁ホームページより作成)

宮崎は全国にくらべ、森林面積が広く、人工林のわり合いが高い。

- (1) 資料1の(①)～(④)にあてはまる森林のはたらきを、次のア～エからそれぞれ選んで、記号を書きましょう。
- ア つかれをとったり気持ちをよくしたりします。
 - イ 空気中の二酸化炭素を酸素にかえ、温だん化をふせぎます。
 - ウ 雨水を地中にたくわえてゆっくりと流し、災害をふせぎます。
 - エ 生活に必要な木材を育てます。

①	ウ
②	イ
③	エ
④	ア

- (2) 資料1の(⑤)の県木の名前を書きましょう。

オビスギ

(3) 資料1のA、Bの絵を参考にして、資料1の(a)

(b)

また、
かに分
ア 日
イ 木がきれいにならないでいる
ウ 下草がないので、移動や作業がしやすい
エ 緑が多いので、たくさんの生き物がいる

自然のままの天然林と、人の手が入っている人工林には、それぞれどんな特ちょうがあるかを考えて分類しましょう。

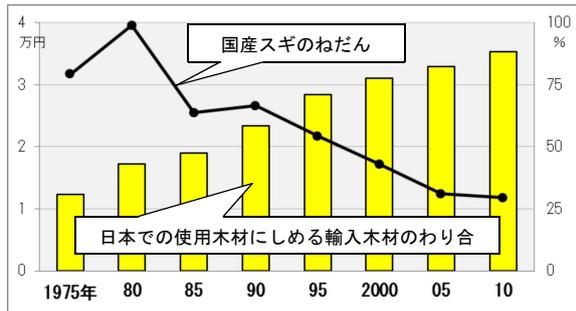
記号	森林の種類	特ちょう
A	(天然)林	ア、エ
B	(人工)林	イ、ウ

【資料2 ゆう

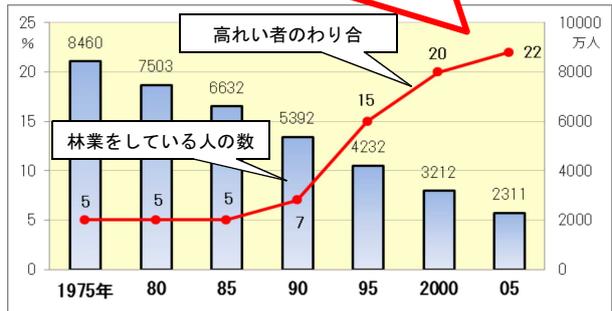
森林があぶない

林業をしている人の数が減っており、しかもそのうちの高齢者の割合が高まっていることがわかります。するとどうなっていくのでしょうか。

【グラフ 輸入木材と国産スギ】



【グラフ 宮崎県で林業を



(農林水産省ホームページより作成)

あぶない! ① 日本国産のスギのねだんが安くなり、木材の輸入がととも増えきている。このままでは、日本の森林を守る林業があぶない。

あぶない! ② (⑥)。このままでは、宮崎の森林を守る林業があぶない。

新しいぜい金の登場

⑦宮崎県では、平成18年から「森林環境税」が導入されています。

(4) 資料2のグラフ「宮崎県で林業をしている人」をふまえて、(⑥) にあてはまる宮崎県の課題を書きましょう。

林業をしている人の数が減っており、高収入化が進んでいるため(森林を守り育てる仕事にたずさわる)林業の後継者が不足していくと考えられる

(5) 資料2の下線部⑦にあるように、宮崎県では「森林環境税」という税金を導入していますが、(1)~(4)の内容や右の資料3などから、なぜ税金を集めて森林を守る必要があるのか、(4)をふまえて書きましよう。

なぜ税金を集めて森林を守る必要があるのか、(4)をふまえて書きましよう。

森林は私たちの生活にとって欠かせない大切なものであるが、森林を守り育てる仕事である林業をしている人の数が減ってきている。

このため、税金による収入を使って、森林を守り育てていく必要があるから。

【資料3】税金とは

税金とは、わたしたちが生活するのに役立つ活動や、みんなでささえ合う活動などを行うために集められるお金のことで、わたしたちの安全・安心な暮らしを支えるための「会費」であるといえます。

(財務省ホームページより作成)